

2014年3月期 第3四半期決算説明会資料

2014/1/27

◎ 株式会社日立ハイテクノロジーズ
執行役常務 宇野 俊一

2014年3月期第3四半期決算説明会資料

I 2014年3月期第3四半期 業績ハイライト

II 2014年3月期 業績予想

III 参考:データ集

I

2014年3月期第3四半期 業績ハイライト

2014年3月期第3四半期 業績ハイライト

(億円)

	当期累計 実績	第3四半期 実績	当期累計実績 前年同期比		第3四半期 前年同期比	
			増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	4,367	1,460	+60	+1%	+260	+22%
営業利益	136	72	△25	△16%	+71	—
経常利益	140	74	△28	△17%	+71	—
当期利益	84	49	△30	△26%	+46	—
一株利益*	61円39銭		△21円49銭		—	

* 当期累計実績

Ⅱ

2014年3月期 業績予想

(e)は前回予想(2013年10月公表値)、(e1)は今回予想

2014年3月期 業績予想(ハイライト)

(億円)

	当年度予想	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,300	+545	+9%	△100	△2%
営業利益	280	+90	+48%	±0	±0%
経常利益	280	+79	+39%	±0	±0%
当期利益	192	+70	+58%	△5	△3%
一株利益	139円60銭	+51円15銭		△3円63銭	
一株配当	20円00銭	±00円00銭		±00円00銭	
FCF	+50	△15		±0	

・前回予想(2013年10月公表値)

・想定レート:1USD=100円、1EUR=135円

対前回予想比(2013年10月公表値比較)

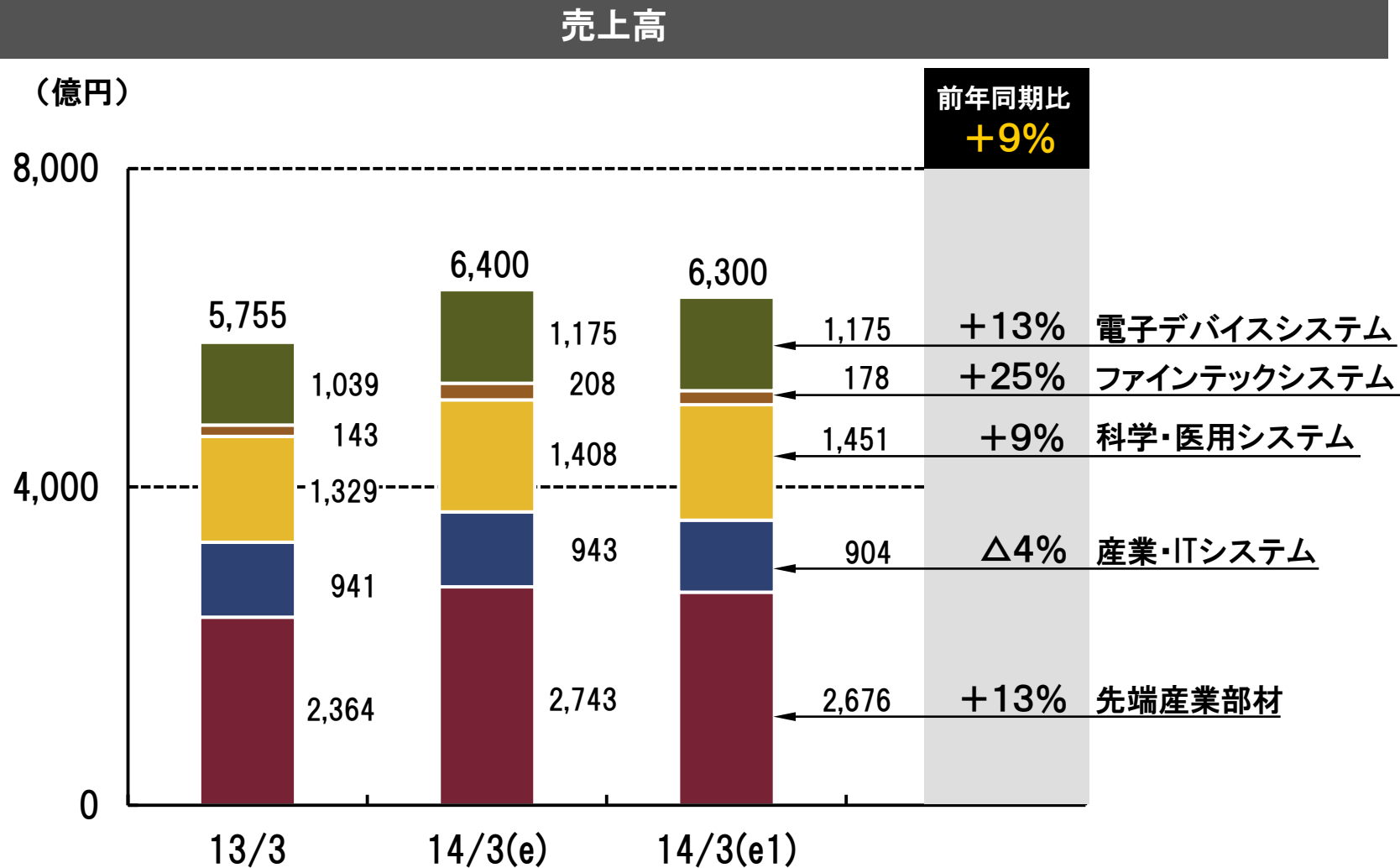
売上高 (6,400億円 → 6,300億円 △100億円)

- ファインテックシステム: HD関連製造装置の顧客投資延期等により29億円減少
- 科学・医用システム: バイオ・メディカル事業の回復等により43億円増加
- 産業・ITシステム: 自動組立装置の出荷計画延伸等により39億円減少
- 先端産業部材: 海外向け工業関連部材の案件遅延等により67億円減少

営業利益 (280億円 → 280億円 ±0億円)

- ファインテックシステム: 売上減少および操業度悪化等により17億円減少
- 科学・医用システム: 売上増加等により16億円増加

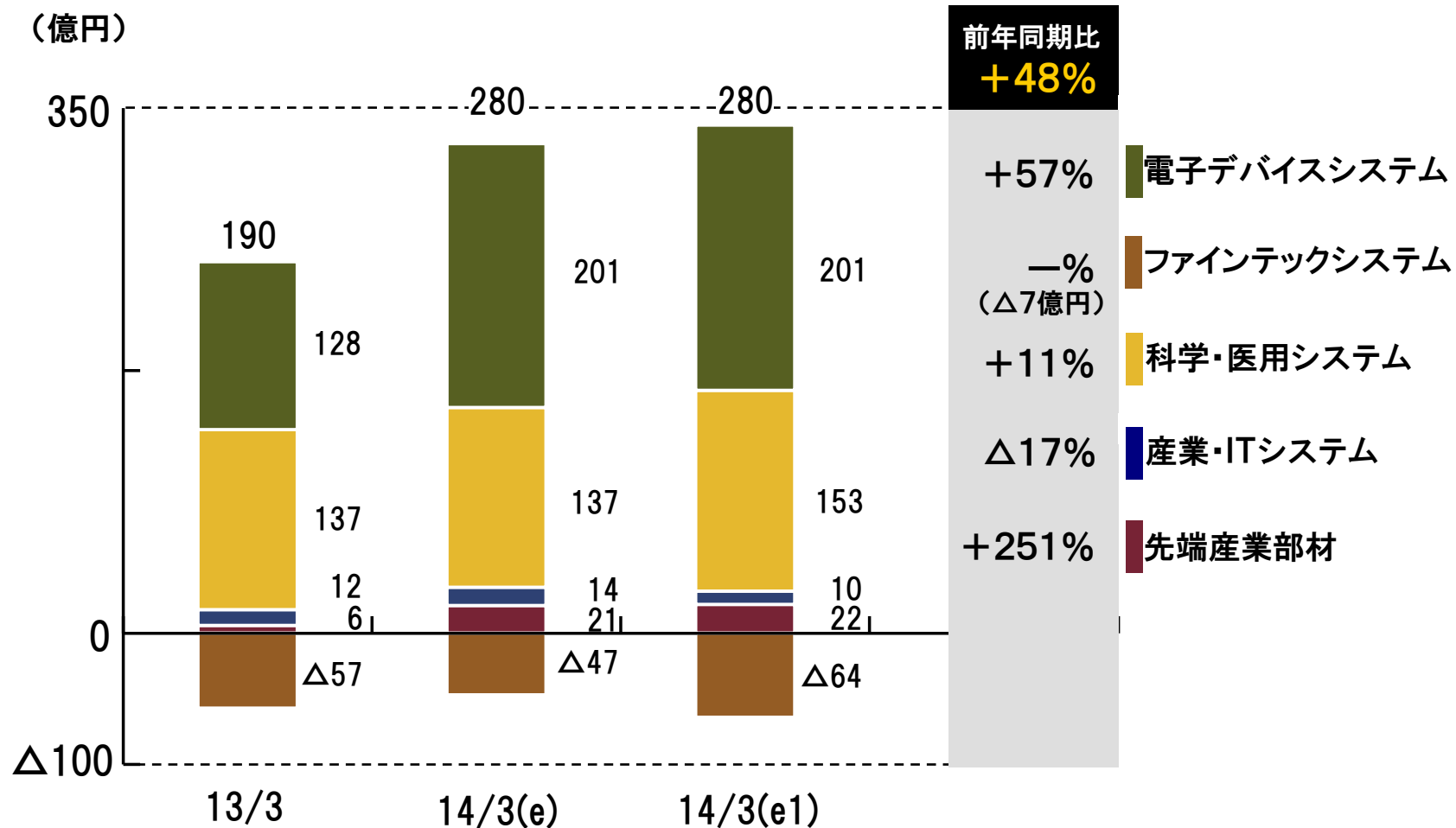
2014年3月期 業績予想(売上高)



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

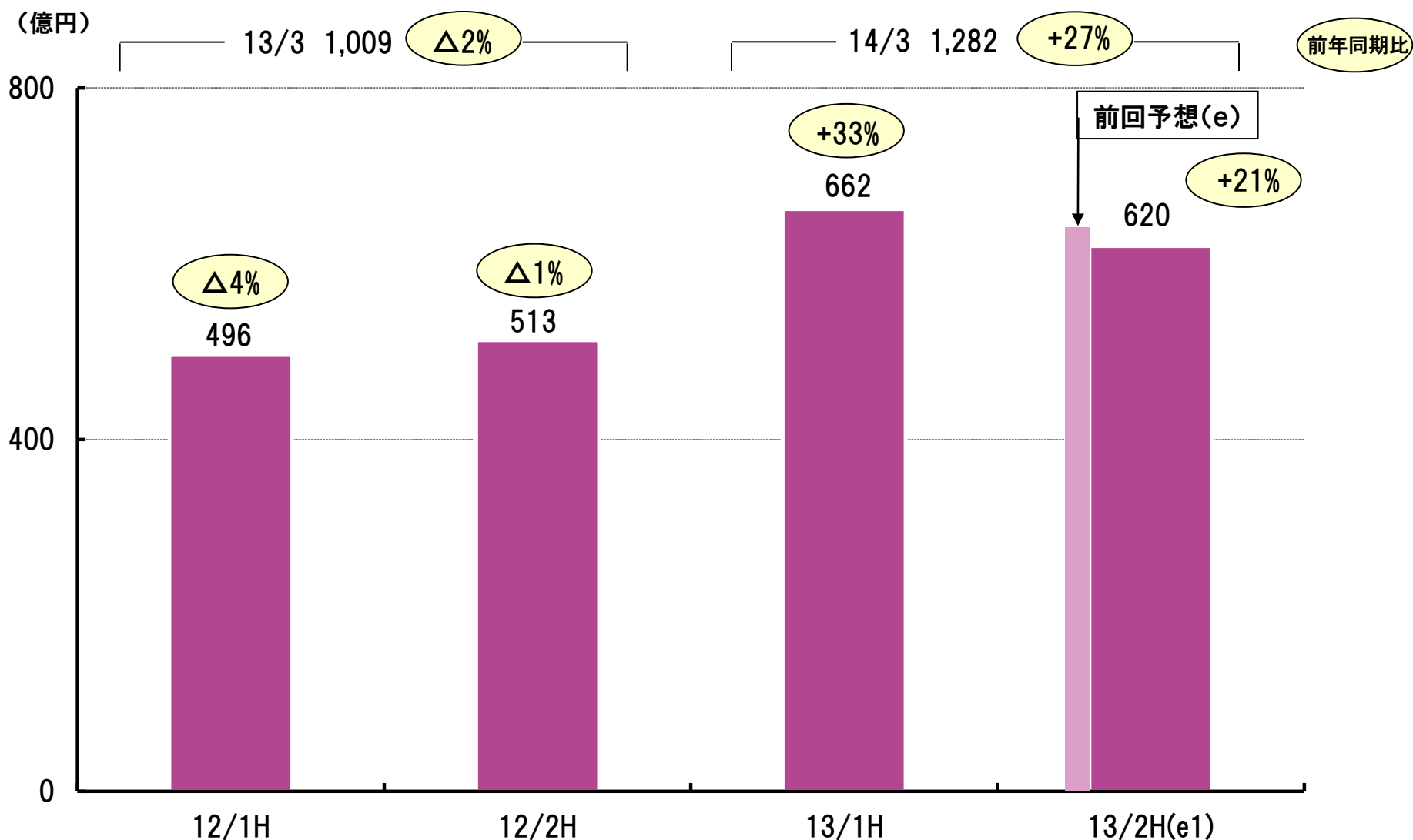
2014年3月期 業績予想(営業利益)

営業利益



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

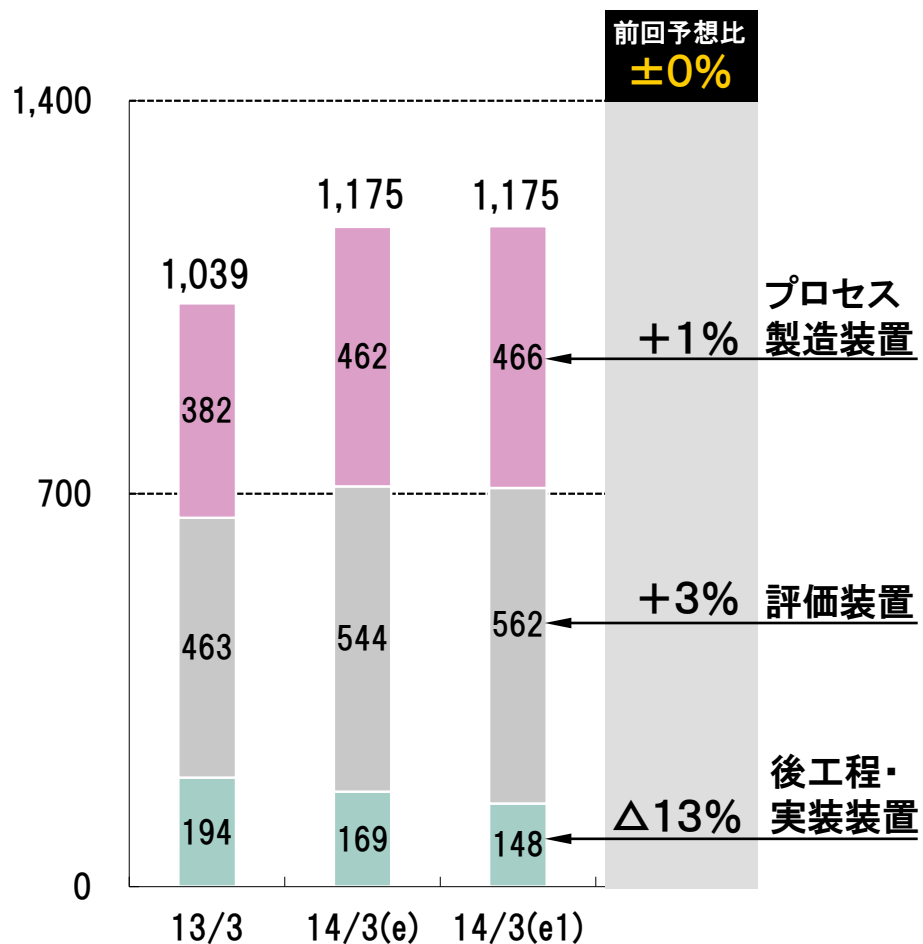
受注高の推移



2014年3月期 業績予想 (電子デバイスシステム) (ファインテックシステム)

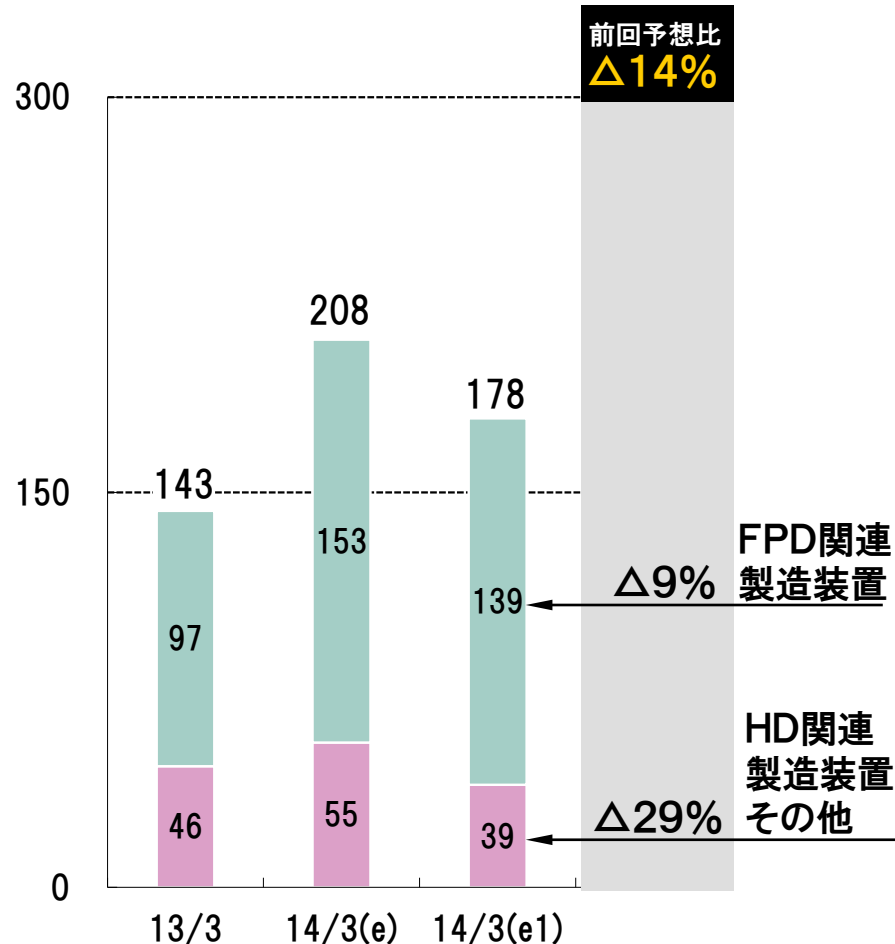
電子デバイスシステム 売上高

(億円)



ファインテックシステム 売上高

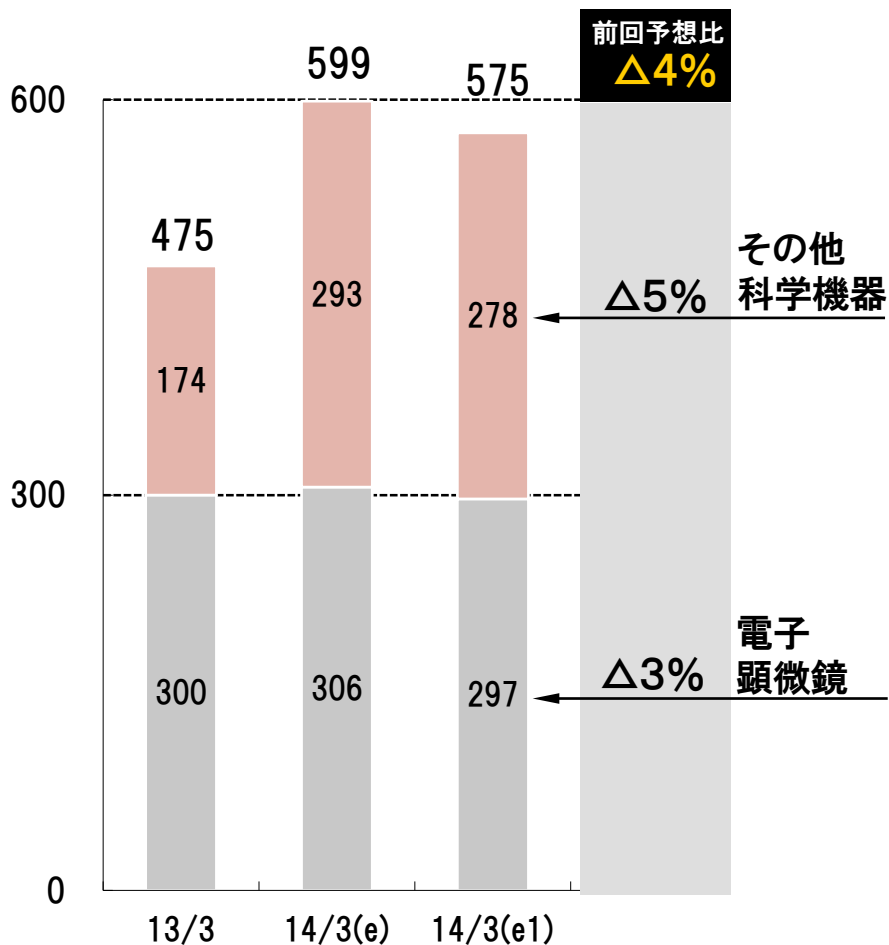
(億円)



2014年3月期 業績予想(科学・医用システム)

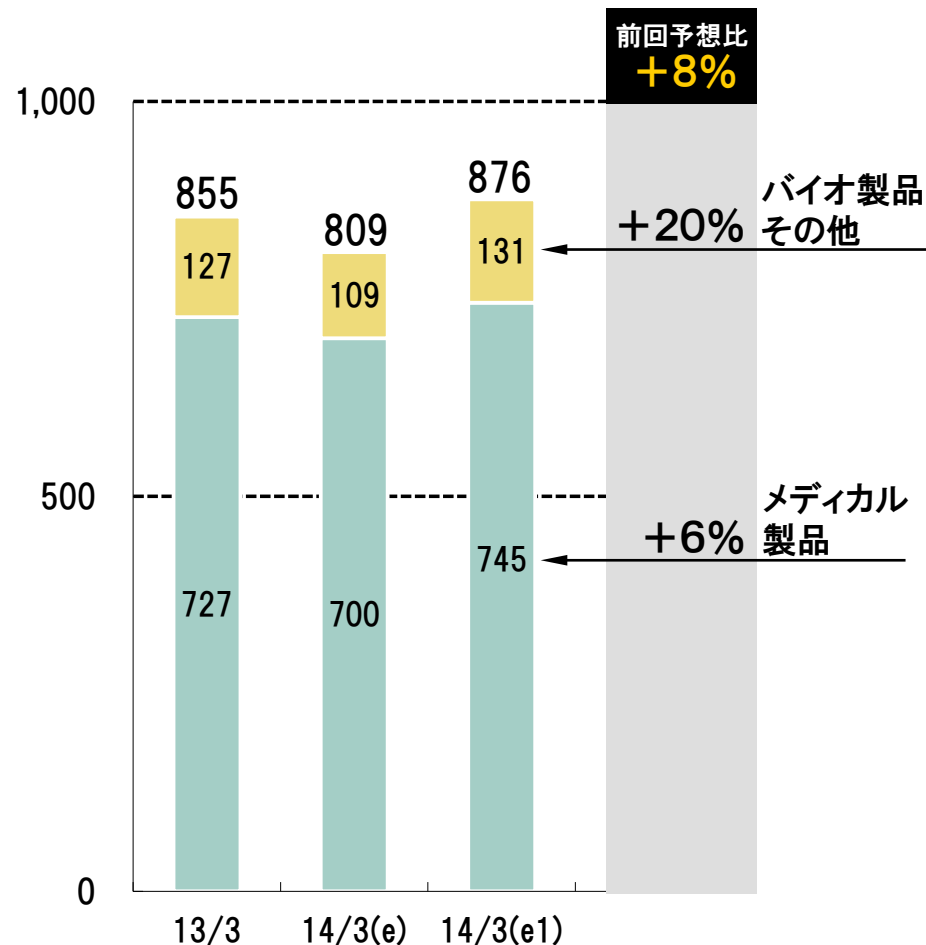
科学事業 売上高

(億円)



バイオ・メディカル事業 売上高

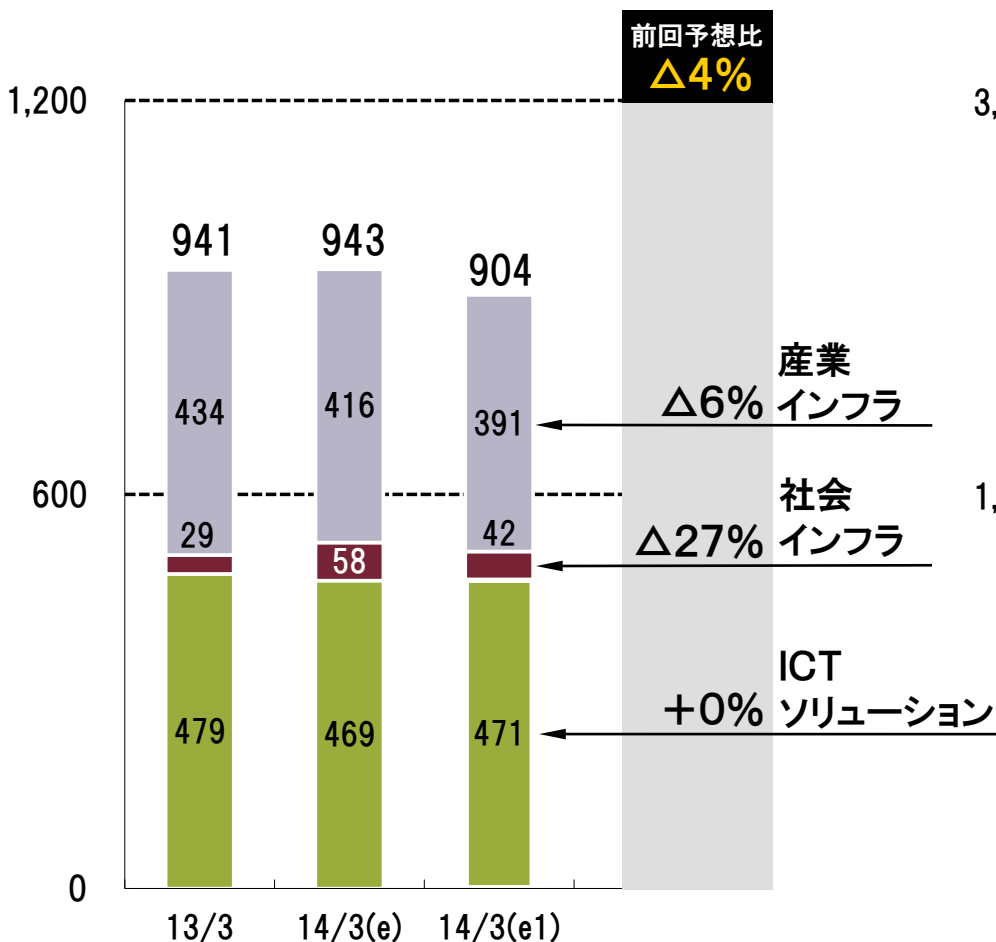
(億円)



2014年3月期 業績予想(商事部門)

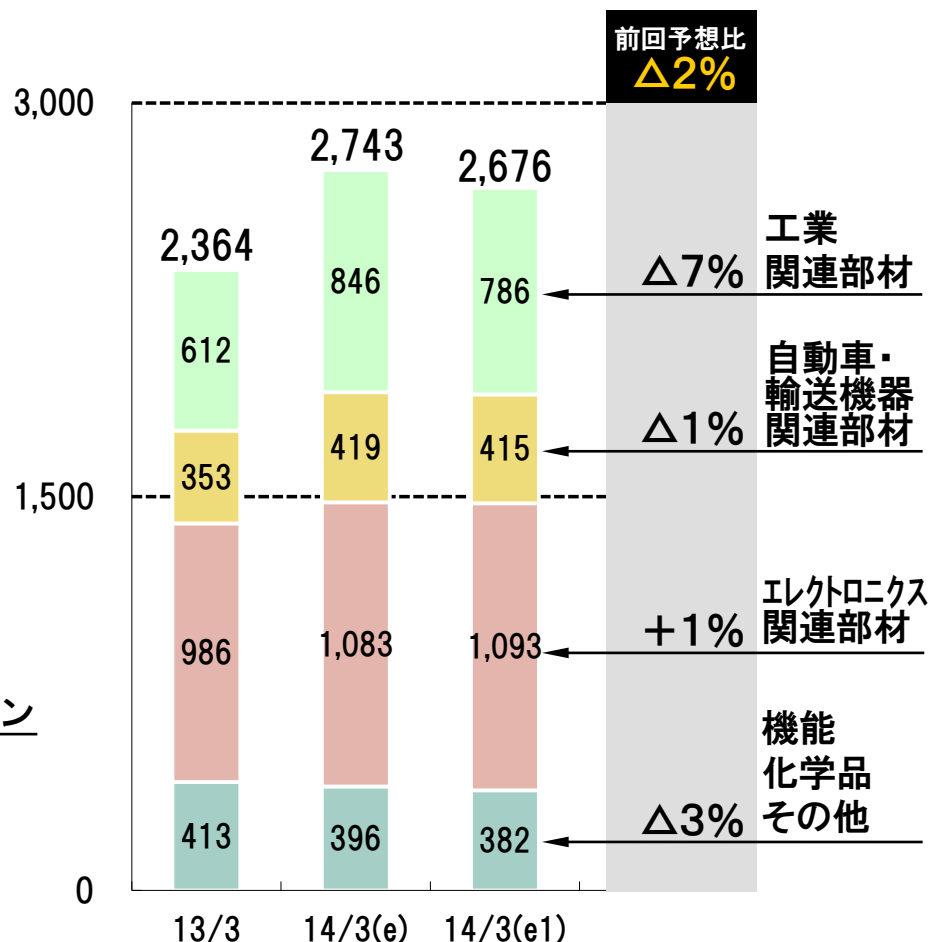
産業・ITシステム 売上高

(億円)



先端産業部材 売上高

(億円)



■電子デバイスシステム

- ・前工程装置は全体で堅調を維持するも、後工程・実装装置は足元弱含み
→先端ロジック・メモリー投資の取り込みと後工程・実装装置の競争力強化に引き続き注力

■ファインテックシステム

- ・事業ポートフォリオの転換を加速中
→社会インフラ検測装置等、安定的な成長の見込める分野への積極的な事業転換を図る

■科学・医用システム

- ・バイオ・メディカル事業は回復基調を継続も、科学事業は民間需要が低迷
→新製品の継続投入と新事業(DNA・遺伝子検査等)の開発を推進

■商事部門(産業・ITシステム、先端産業部材)

- ・新興国市場の成長鈍化の影響あるも、エレクトロニクス関連分野が堅調
→「産業インフラ」「社会インフラ」「自動車・輸送機器」の注力3分野で、グローバル市場での事業拡大を図る

Ⅲ

参考：データ集

四半期業績の推移

(億円)

			12年 1Q	12年 2Q	12年 3Q	12年 4Q	13年 1Q	13年 2Q	13年 3Q	
売上高 ／ 営業利益	電子デバイスシステム	売上高	293	337	186	224	213	283	274	
		営業利益	61	52	4	11	13	39	58	
	ファインテックシステム	売上高	25	48	22	48	12	28	16	
		営業利益	△14	△14	△12	△17	△20	△15	△18	
	科学・医用システム	売上高	355	345	241	388	291	371	333	
		営業利益	52	32	9	44	16	43	37	
	産業・ITシステム	売上高	259	279	183	221	171	258	183	
		営業利益	△2	6	0	7	△9	4	△6	
	先端産業部材	売上高	605	592	583	584	642	667	670	
		営業利益	2	1	2	△0	6	4	8	
	その他・調整額	売上高	△15	△17	△14	△17	△15	△15	△15	
		営業利益	△6	△13	△3	△16	△7	△12	△7	
	合計		売上高	1,523	1,584	1,200	1,447	1,315	1,592	1,460
			営業利益	94	66	1	29	0	63	72
経常利益			99	66	3	32	5	62	74	
当期利益			62	49	3	8	△15	51	49	

主要製品群別売上高の状況

(億円)	12年1Q	12年2Q	12年3Q	12年4Q	13年1Q	13年2Q	13年3Q
電子デバイスシステム	293	337	186	224	213	283	274
プロセス製造装置	113	90	78	102	90	110	150
評価装置	138	156	71	98	82	119	106
後工程・実装装置	42	90	37	24	41	54	18
ファインテックシステム	25	48	22	48	12	28	16
FPD関連製造装置	16	34	14	34	9	15	11
HD関連製造装置その他	10	15	8	14	3	13	5
科学・医用システム	355	345	241	388	291	371	333
電子顕微鏡	67	72	54	107	38	78	62
その他科学機器	26	44	29	75	51	65	60
メディカル製品	220	201	131	175	171	195	178
バイオ製品その他	42	28	28	29	31	33	34
産業・ITシステム	259	279	183	221	171	258	183
産業インフラ	96	142	76	121	61	93	70
社会インフラ	2	11	5	10	5	6	8
ICTソリューション	161	125	102	90	105	159	105
先端産業部材	605	592	583	584	642	667	670
工業関連部材	154	155	143	160	188	192	201
自動車・輸送機器関連部材	84	81	91	96	90	98	105
エレクトロニクス関連部材	257	247	254	229	277	278	266
機能化学品その他	110	110	95	98	86	98	98

<資料取り扱い上の注意>

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

END

2014年3月期第3四半期決算説明会資料

お問合せ先
CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部
部長 加藤 弘之
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943
E-mail:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

Creative Minds. Innovative Solutions.